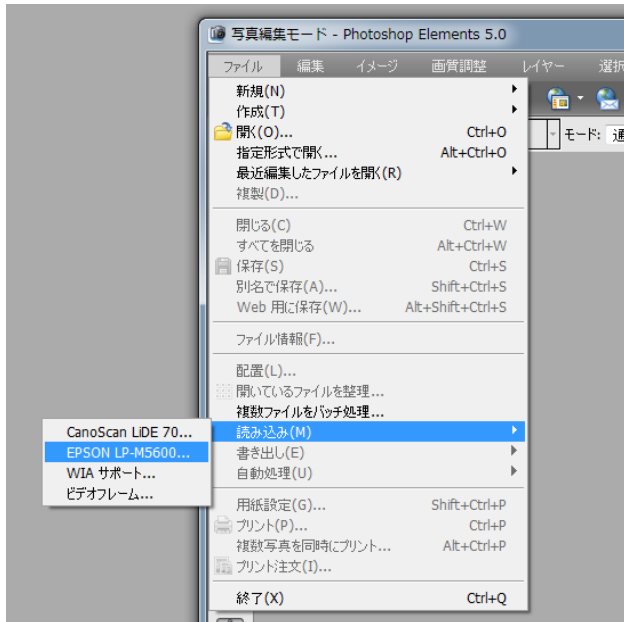
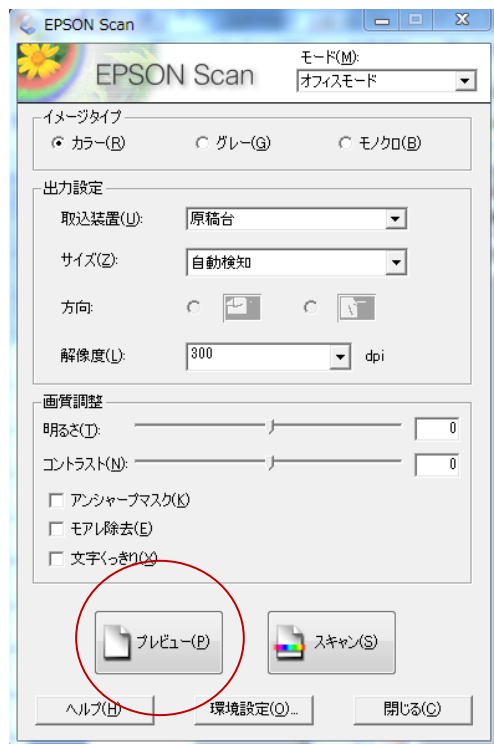


## 画像の準備の仕方

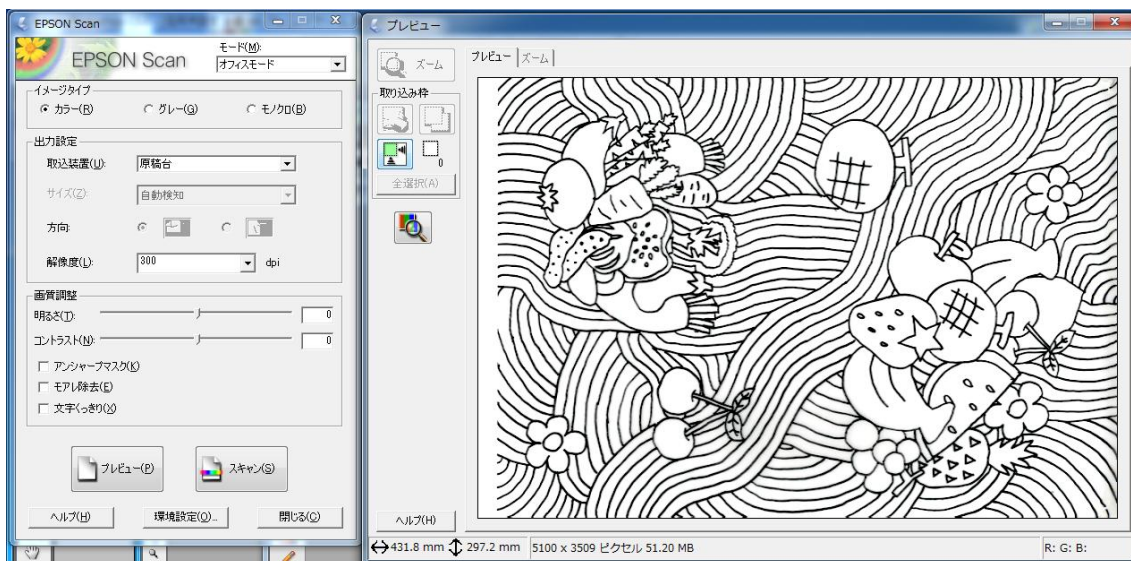
スキャナの電源を入れて、フォトショップエレメントのメニューからファイル→読み込み→操作するスキャナ（ここではLP-M5600）を選択



取り込み設定の画面が開く

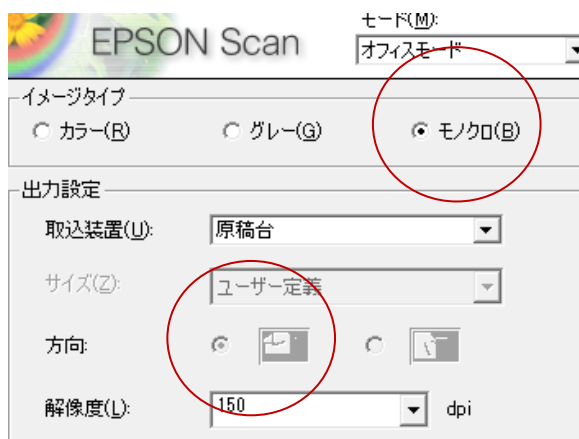


プレビュー画面が表示されていない場合は、プレビューボタンをクリック。



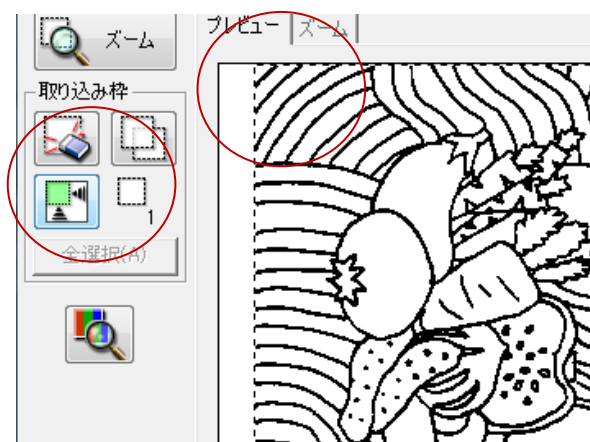
プレビューが表示された状態。

## 取り込み設定を行う



イメージタイプをモノクロにして、解像度を設定する。印刷には、300dpi が適しているが、ファイルサイズが大きくなる。編集するパソコンの処理能力に応じて 150dpi ぐらいまでさげても大丈夫。

取り込み範囲を確認する。



イメージの位置を自動検出するボタンを押すと、読み込まれる範囲が点線で表示される。余白の部分は削除して、読み込み範囲を設定してくれる。

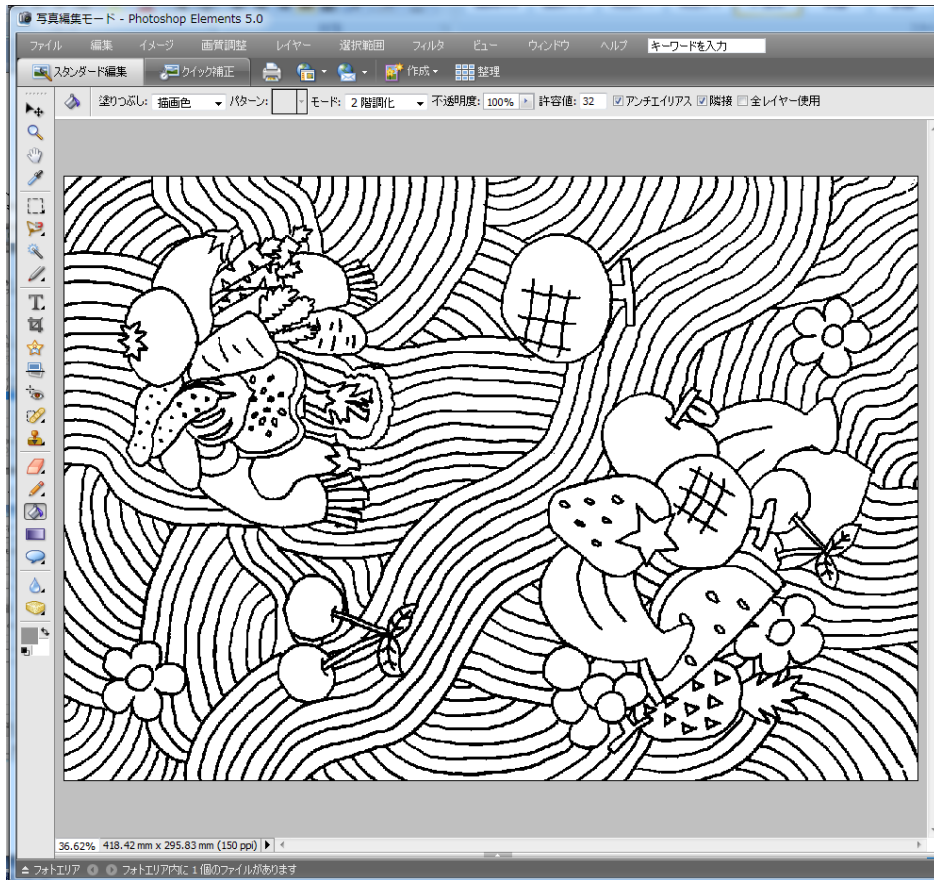
取り込み範囲が良ければ、スキャンボタンをクリックする。



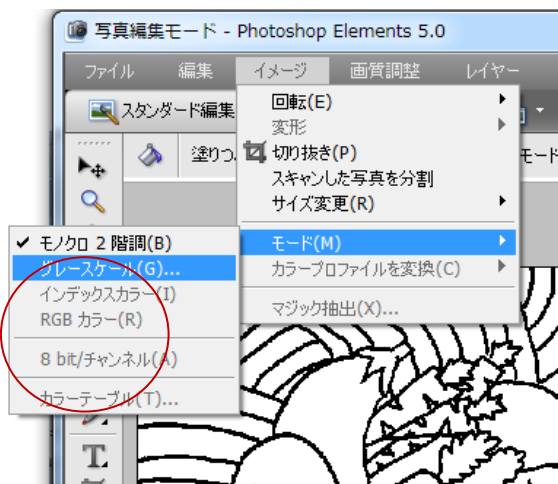
続けて取り込む場合は原稿を差し替えて、「プレビュー」→「スキャン」を繰り返す。取り込みが終了したら、「閉じる」で、フォトショップエレメントにもどる。

### 画像のサイズと色数を変更する。

白と黒の2色でできた画像にするために「モノクロ」でスキャンしたが、このままでは、白と黒しか扱えないファイルができる。そこで、ファイルの色数を増やす。

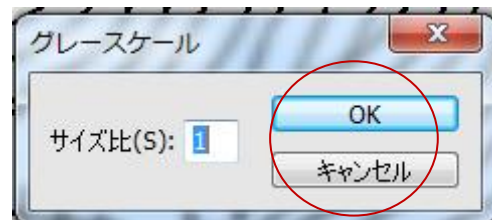


スキャナ設定を閉じるとスキャンした画像が、開かれた状態で表示される。この画像は、白と黒しか扱えない。

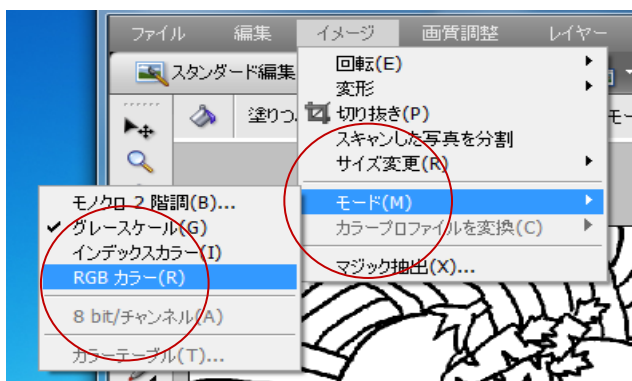


メニューから「イメージ」→「グレースケール」と進む。

サイズ比が出るが「1」でOK



画像自体に何も変化はないが、「モノクロ」→「グレースケール」→「RGB カラー」と変更



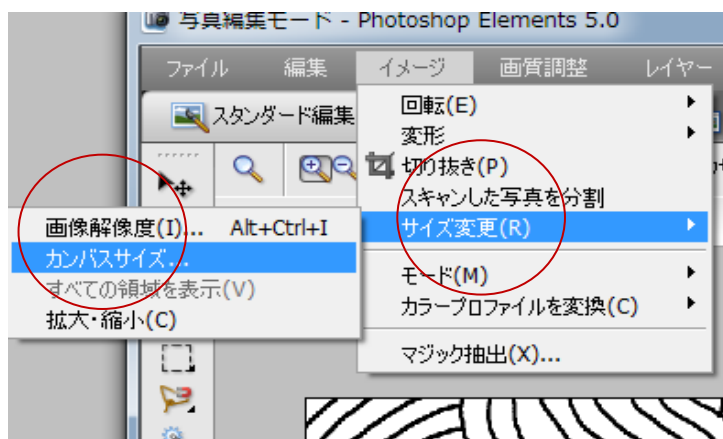
一旦メニューが閉じてしまうので、今度は、グレースケールになったものを、もう一度、RGB カラーにする。メニューから「イメージ」→「RGB カラー」と進む。

され、色が付けられる状態となった。

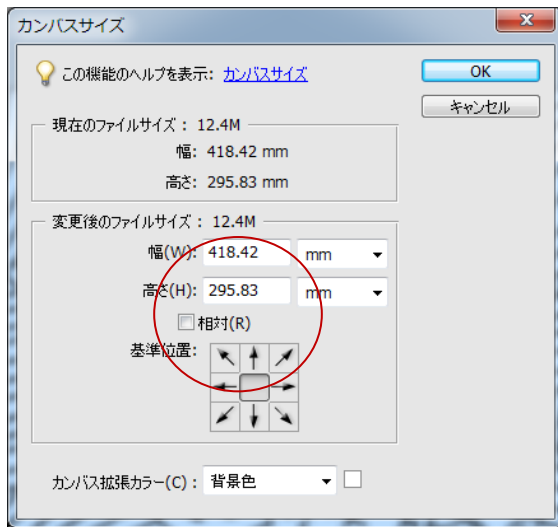
\*初めからカラーで取り込めばこのような処理は不要だが、マーカーの線とトレーシングペーパーといえども、完全な黒と白ではない。カラーで取り込むと、線の色も黒に似たいろいろな色が混在し、扱いにくくなる。よって、取り込みはモノクロでおこなう必要がある。

### 画像の周りを少し切り取る

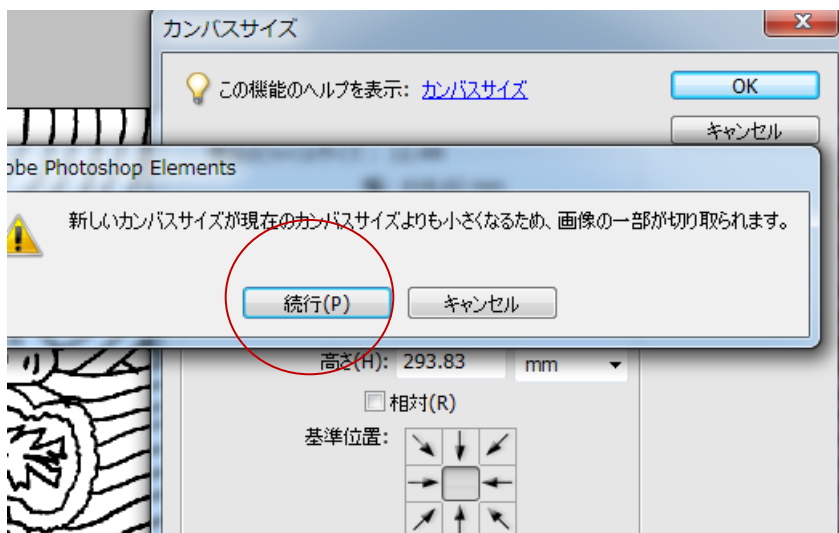
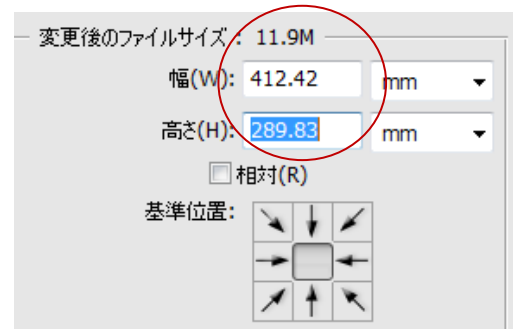
紙の端まで線を描くのは難しい。しかし、端まで線がないと、色を塗る部分がうまく部屋にならず、予期しない部分にまで色が流れ込む。そこで、画像の周囲を少し切り取ることで、端まで線がある画像にする。



メニューから「サイズ変更」→「キャンバスサイズ」と進み、幅と高さをそれぞれ数ミリ小さくする。



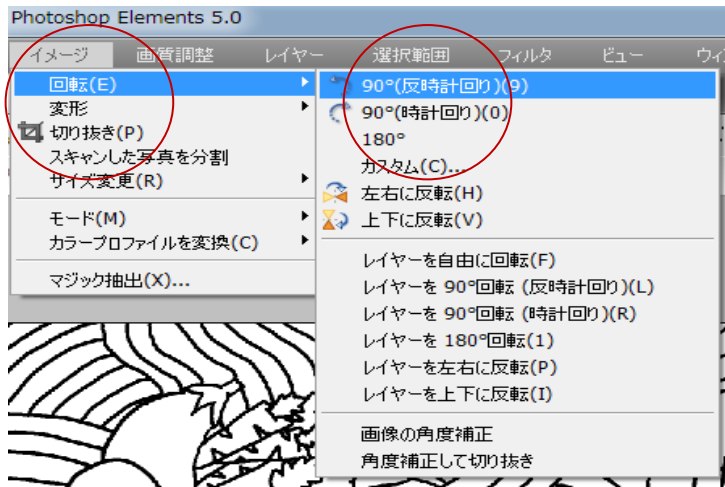
図は幅、高さをそれぞれ 6mm ずつ小さくしたところ（上下左右が 3mm ずつきりとられることになる）



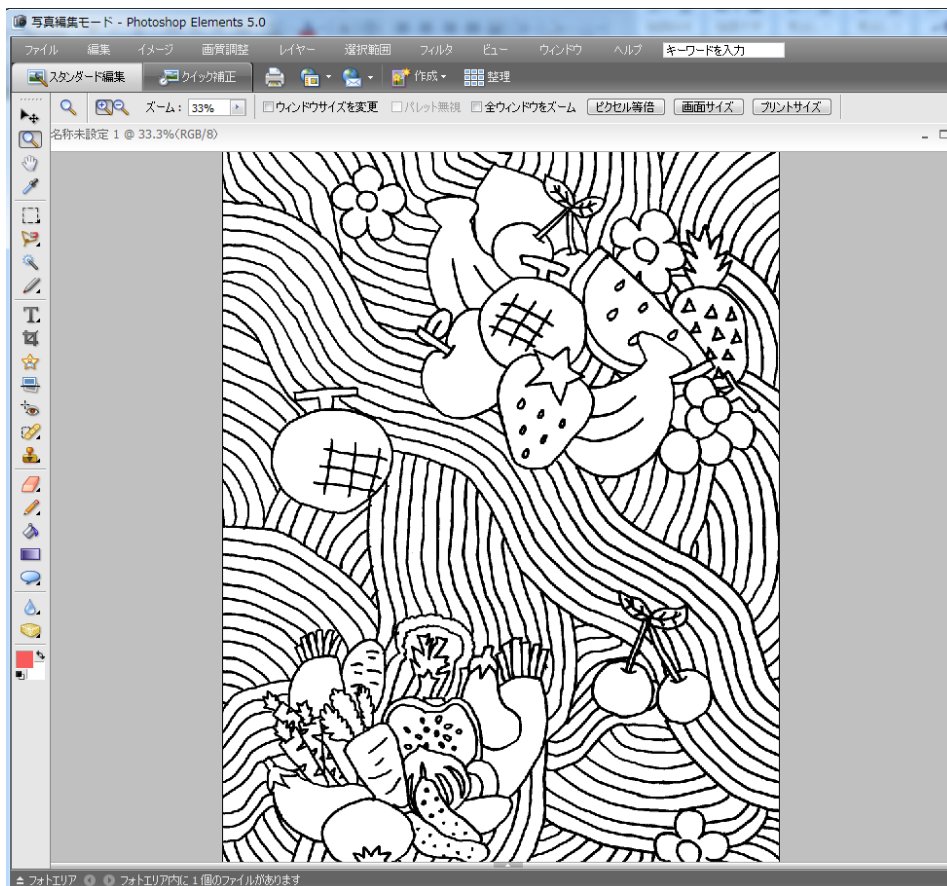
警告がでるが、「続行」

ファイルの縦横を確認して保存する

スキャナでは、A3 横サイズまでしか取り込めなかったため、縦の場合は、画像を回転しておく必要がある。



「イメージ」 → 「回転」 → 「時計まわり OR 反時計まわり」で回転



画像が回転した。これを児童名を付けて保存する。